

令和 7 年 6 月

各 位

堺市教育委員会
教育長 関百合子

「O157 堺市学童集団下痢症を忘れない日」
並びに「追悼と誓いのつどい」について（ご案内）

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本市学校教育の推進にお力添えをいただき厚くお礼申し上げます。

さて、教育委員会では、7月12日を「**O157 堺市学童集団下痢症を忘れない日**」と定めています。また、市役所敷地内に「**永遠に**」の碑を設置し、これからも事件を風化させることのないよう取り組んでいるところです。

つきましては、O157 堺市学童集団下痢症により亡くなられた方の死を悼みご冥福をお祈りし、二度とあのような悲惨な出来事を繰り返さない、風化させないことを誓うため「**O157 堺市学童集団下痢症 追悼と誓いのつどい**」を開催いたします。

記

1. 日 時 令和7年7月12日（土） （雨天開催）
- （式典） 午後2時30分～午後3時30分
- （一般献花） 午後3時30分～午後4時30分
2. 場 所 堺市役所 本館正面玄関 「永遠に」の碑前
堺市堺区南瓦町3番1号

問合せ先
堺市教育委員会事務局
学校管理部 学校給食課 吉田・松浦
TEL 072-228-7489
FAX 072-228-7256

「0157 堺市学童集団下痢症 追悼と誓いのつどい」 開催要項

- 目的 : 平成8年7月、学校給食を起因とした腸管出血性大腸菌 0157 による堺市学童集団下痢症が発生し、児童 7,892 人を含む 9,523 人の方々が罹患し、3 人の児童の尊い命を失った。
また当時、溶血性尿毒症症候群を発症した児童が 19 年を経過した平成 27 年 10 月、その後遺症を原因として亡くなった。
亡くなられた 3 人の児童、後遺症により亡くなられた方を悼み市民の皆様や学校関係者、行政職員、その他関係者にご冥福をお祈りするとともに、二度とあのような悲惨な出来事を繰り返さない、決して風化させないことを誓う。
- 主催 : 堺市
堺市教育委員会
- 共催 : 堺市健康づくり推進市民会議
- 開催日時 : 令和 7 年 7 月 12 日 (土)
午後 2 時 30 分～ (受付 午後 2 時～)
- 場所 : 本庁正面玄関前 「永遠に」の碑
- 参加者 : 市長 ・ 堺市議会議員
堺市健康づくり推進市民会議構成団体委員 ・ 各種団体代表
教育長 ・ 堺市職員等 ・ その他関係者
市民
- 内容 : ○ 開式
○ 開式のことば
* 教育長
○ 黙とう
○ 追悼と誓いのことば
* 市長
○ 追悼のことば
* 市議会代表
* 堺市健康づくり推進市民会議代表
○ 代表献花
市長 ・ 市議会代表
堺市健康づくり推進市民会議代表 ・ 各種団体代表
校園長代表 ・ 教育長
○ 各種団体・議員等献花
○ 黙礼
○ 一般献花

○157学童集団下痢症概要

- 平成8年7月12日（金）の夜間、小学校の児童が多数下痢・血便の症状で受診したとの通報が、13日市立堺病院から環境保健局（当時）にあった。
- 13日時点で市内33小学校255人の学童が下痢などの症状を訴えて医療機関を受診した。
- 7月14日には患者の検便結果から○157が検出され、患者数（概数）が2,691人、うち入院140人、受診医療機関79機関を確認した。
- 学校給食による○157の罹患が確実であると判断された患者数は9,523人。その内訳は、学童が7,892人（うち死亡4人「当時3人、後遺症1人」）、教職員が74人、家族や一般市民などの二次感染者を1,557人となる。

亡くなられた方

久世小	5年生	平成8年7月23日	永眠
三原台小	6年生	平成8年8月16日	永眠
新檜尾台小	1年生	平成9年2月1日	永眠

後遺症により亡くなられた方

り患当時	1年生	平成27年10月11日	永眠
------	-----	-------------	----

- 平成24年6月18日、毎年「7月12日」を「○157堺市学童集団下痢症を忘れない日」と制定

* 事件発生から15年が経過し、世代の交代が進み、事件を知らない市職員、教職員、市民が増えてきた。児童生徒も事件後生まれの世代の子どもたちとなってきている。また、事件を忘れることなく、次世代へ引き継いでいくべきとの意見もあることから教育委員会において制定した。

- 平成26年4月6日 ○157堺市学童集団下痢症の碑「永遠に」竣工

* 事件の発生から17年が経過しているなか、亡くなられた3人の児童を追悼するとともに、事件を記録し、亡くなられた児童と多くの被害者の方々を決して忘れず、事件を反省し風化させないこと、また、市として二度とこのような事故を繰り返さないことを誓うため設置する。

事件を風化させない取組について

- ・ ○157学童集団下痢症の発生から29年が経過し、事件発生当時のことを知らない教職員が多くなってきている。
- ・ 子どもたちの命と健康を守るために、緊張感を低下させることなく、もう一度原点に立ち返って、危機管理・安全管理について不断の点検に取り組んでいただきたい。
- ・ 教職員・子どもたちにも事件の概要を伝え、事件を風化させることのないよう、また、亡くなられた方のご冥福を祈る取組を行っていただきたい。

「O157 堺市学童集団下痢症を忘れない日」について

1. 制定の背景

事件発生から 15 年が経過し、世代の交代が進み、事件を直接知らない市職員や教職員、市民が増えてきている。児童生徒も事件後生まれの世代の子ども達となってきていた。

また、議会からも、事件を忘れることなく、次世代に引き継いでいくべきであるとの指摘があった。

2. 制定の趣旨

平成 8 年 7 月、学校給食に起因する腸管出血性大腸菌 O157 による学童集団下痢症が発生し、児童 7,892 人を含む 9,523 人の方々が罹患し 3 人の児童の尊い命を失った。

市として、二度とこのようなことを繰り返さないために、これからも亡くなられた 3 人の児童と今なお苦しんでおられる被害者の方々を決して忘れず、事件を風化させないことを目的として「O157 堺市学童集団下痢症を忘れない日」を制定した。

3. 制定日

平成 8 年 7 月 12 日に多数の学童が下痢、血便を主症状とする食中毒症状を発症したことから 7 月 12 日を「O157 堺市学童集団下痢症を忘れない日」とした。

平成 24 年 6 月 18 日開催の教育委員会定例会で制定

平成八（一九九六）年七月 堺市の学校給食から
腸管出血性大腸菌O一五七による感染症が発生し
多くの児童を苦しめ 三人の尊い命を失いました

私たちは忘れません

多くの子どもたちの苦しむ姿を

夢をたたれ 将来を奪われた三人の幼い命を

痛恨の思いを胸に

私たちは誓います

二度とこのような不幸を繰り返さないと

私たちはめざします

安全で楽しい学校給食を

そして健やかな心と体をはぐくむ

明るく元氣な「わがまち・堺」の実現を



永遠に

平成八年（一九九六年）七月、学校給食を起因として腸管出血性大腸菌O157による感染症を引き起こし、尊い三名の児童の命を失いました。

ここに深く反省しおわびするとともに

二度とこのような不幸を繰り返さないことを誓い

犠牲となられた児童のご冥福を心からお祈りいたします。

平成二十六年三月

堺市

堺市教育委員会

追悼

堺市立久世小学校 第五学年

女子児童 平成八年七月二十三日 永眠

堺市立三原台小学校 第六学年

女子児童 平成八年八月十六日 永眠

堺市立新檜尾台小学校 第一学年

女子児童 平成九年二月一日 永眠

堺市学童集団下痢症

平成八年（一九九六年）七月、学校給食に起因する

腸管出血性大腸菌O157による

学童集団下痢症が発生しました。

九五二三名が罹患され、多くの人々が苦しみ、

尊い三名の児童の命を失いました。

